

中小企業の「IT 経営」実践を サポート ～ITコーディネータ活躍の場を拡大～



特定非営利活動法人ITコーディネータ協会 会長
播磨 崇

ITコーディネータ協会（ITCA）は、2001年2月発足以来、ITコーディネータの育成・認定のため、試験とケース研修の実施並びに資格取得後の継続研修などを推進してきた。ITコーディネータ資格認定者はこれまでに累計1万人を超え、全国に200を超えるITC組織があり、全国各地で商工団体や金融機関、自治体、関係支援機関などと連携し、中小企業などの経営革新や自治体、各団体における改革を推進する活動を展開している。

当協会が全国各地のITコーディネータと連携して推進する主な事業活動の内容は以下の通りである。

ITコーディネータ活躍の場を広げIT経営を普及促進

当協会では、全国のITコーディネータの活躍の場を広げるための取り組みとして以下のような活動を行っている。

- ・ 全国の信用金庫等の地域金融機関と連携した中小企業のIT活用支援
- ・ 東京商工会議所等と連携し中小企業のWeb導入から高度活用までを一貫してライフサイクル型で支援
- ・ 全国各地で地域のITC組織が主催する「IT経営カンファレンス」を開催し地元経営者や関係支援機関にIT経営成功事例等を紹介など

最近のトピックス

2016年1月から「マイナンバー制度」が始まる。税、社会保障を中心に実施されるが、とくに中小企業の本制度に対する準備は十分ではない。マイナンバー（個人番号）の漏えいなどは重大な問題に発展し、処罰の対象にもなる。当協会では、これらの中小企業のマイナンバー制の導入を円滑に進めるための対応策を講じてきている。具体的には、モデル企業を例にあげ、マイナンバーへの対応を事例で示し、手を打つべきところの勘所を分かりやすく示す研修を実施し、全国の中小企業の経営者、ITコーディネータに向けて情報発信や、研修を展開していく。

また、経済産業省が推進する「攻めのIT経営 中小企業百

選」事業の事務局を担当し、全国の中小企業の中でITを積極的に活用し、「攻めのIT経営」を実践している優れた企業を選定し、その事例を広く世の中に知らしめる活動を進めている。

より高度なIT経営支援を求められるITコーディネータ

中小企業のIT利活用の高度化に伴い、ITの利活用のスタイルも、クラウド、モバイルなど新しい技術の活用が求められてきている。それに伴いセキュリティの確保も重要課題となっており、ITコーディネータも適切な対応を行っていかねばならない。

また、利活用分野も、製造業をはじめとし、サービス業、農業、医療などへも拡大を見せている。これらに対応するため、当協会は、全国のITコーディネータや識者の協力を得て研究活動を展開し、その成果として人材育成プログラムを生み出す取り組みを進める。テーマとしては、マイナンバー、クラウド、セキュリティ、農業、医療などである。

更に、ITコーディネータの継続学習のほかに、当協会会員、ITユーザやITベンダや個人も対象としたセミナーや研修を実施していく予定である。

IPAとの連携の強化

より一層高度な支援を求められる当協会にとって、IPAと様々な活動で連携・協力をさせて頂いていることに大いに感謝している。とくに、ITコーディネータと連携したSEC成果物の作成・普及活動、また中小企業などにおけるIT利活用の実態調査などの共同実施、全国のITC組織主催セミナーへの講師派遣などでは大変お世話になっている。

また、情報セキュリティの普及啓発事業でも、中小企業に対する指導者育成や普及のためのコンテンツの提供などに関してご支援を頂いており、更にこうした活動についてITコーディネータの参画、連携を促進していきたい。

今後も、IPA関係の皆様方のご支援、ご協力の程よろしくお願ひしたい。